

会社概要

Pilz GmbH & Co. KG Felix-Wankel-Straße 2 73760 Ostfildern Deutschland/Germany www.pilz.com

> 2022 年 5 1/6 ページ

安全の大使

セーフオートメーションのトータルソリューション

より速く、より柔軟に、より安全に - これを目指して、あらゆる産業で設備と機械のオートメーションレベルは進化を続けています。進化を通じて、生産システムに新たな需要が生まれています。セーフオートメーションのトータルサプライヤであるピルツは、世界各地で人と機械および環境の安全の代名詞であり、あらゆる産業向けにオートメーションソリューションを提供しています。

設立当初から、成功のカギは革新技術でした。1948年に医療機器用ガラス吹き事業会社としてエスリンゲンに設立され、60年代に電子制御および監視機器とプログラマブルロジック制御システムのサプライヤへと発展しました。伝統ある同族企業として、セーフオートメーション分野で主導的な立場を確立してきました。1968年に両手操作リレー、1987年に初の非常停止リレーPNOZ(ドイツ語で「ピルツ非常停止強制ガイド」の意味)を発売しました。独自の製品にふさわしい、独自の名称です。PNOZは、瞬く間に世界で最も広く使用される安全リレーとなりました。その後、1997年に機械設備の分散型ネットワーク用の安全オープンバスシステム SafetyBUS pを発売しました。2002年、多機能安全システムの PNOZmultiを発売しました。この製品の登場で、従来の配線を通じて実装するのではなく、ユーザが PC 上で必要な安全機能をコンフィグレーションできるようになりました。以上の他にも、3次元ゾーン監視に対応する世界初の安全カメラシステム SafetyEYE などの革新的な製品を市場に送り出してきました。さらに、ピルツはサービスの面でもトレンドを作っています。2013年、ピルツは TÜV



NORDと協力して、国際トレーニングプログラムの CMSE® (機械安全認定エキスパート)を開発し、機械安全の分野で初の国際的認定トレーニングの基準を確立しました。

セーフオートメーションのトータルサプライヤ

中核能力である安全からスタートして、ピルツは安全とオートメーションを インテリジェントに組み合わせたオートメーションソリューションのトータル なサプライヤへと進化しました。安全技術分野で長年蓄積した経験と幅広 い知識は、一般的な設備および機械制御要件にも活用されています。お 客様にとっては、カスタマイズされたワンストップのオートメーションソリュー ションを活用できるという利点があります。

オートメーションシステム PSS 4000 は、あらゆるオートメーションタスクに対応すべく2009 年に発売され、その戦略的方向がしっかりと実践に移されました。PSS 4000 は、エンジニアリングプロセスの最初から最後まで、ユーザをサポートします。製品レンジには、センサ技術、電子監視リレー、安全リレー、小型安全コントロールシステム、産業用通信システム、モーションコントロールとオペレータターミナルを備えたオートメーションソリューションなどがあります。

ピルツのシステムソリューションは、機械工学、自動車、食品、木材加工業など、あらゆる分野で利用されています。技術リーダーである当社の製品は、空港での手荷物処理システムの安全な運用にも貢献している他、劇場の舞台機構のスムーズな移動、ケーブルカーやジェットコースターの安全な運用にも役立っています。ピルツのシステムソリューションは人と機械の安全を改善するだけではなく、生産サイクルをより効率的に設計し、ダウンタイムを回避できるため、経済面でも優れています。



ピルツにとって、安全性とは製品以上の意味を持っています。当社には長年蓄積した専門知識があり、包括的なサービスパッケージを通じて誰でも利用できます。安全性に関するコンサルティングとエンジニアリングにより、設備アセスメントからリスク分析、お客様の現場でのシステム実装および検証まで、ピルツは包括的で優れたサービスを提供しております。また、当社では機械安全の製品トレーニングコースとセミナーを実施しています。

同族企業 - 世界的に評価の高いブランド

Renate Pilz は、夫の死後、1975 年に入社しました。ピルツ社取締役会会長として、「国際的企業に育て、社員とお客様に対する責任を全うするという夫のビジョンを引き継ぎたいと思いました。また、いつの日か一生をかけるに値する共同事業として子どもたちに伝えたいと考えていました」とコメントしています。2017 年の終わりに、Renate Pilz はマネージメントパートナーを娘の Susanne Kunschert と息子の Thomas Pilz に任命しました。ピルツブランドは現在、世界のトップブランドとして数えられています。

2008 年、当社は本社を拡張しました。開発拠点となる Peter Pilz 技術センターが、オストフィルデルン・ネリンゲンにある本社に開設されました。シュトゥットガルト近郊のオストフィルデルン本社の敷地面積は、2011 年に3 倍に拡張されました。2015 年には、Peter Pilz 生産物流センターが新設された他、ピルツの敷地内に本社を拡張しました。

専門知識と革新的精神

ピルツでは、お客様との契約に付随して、または契約の下で製品を開発することがあります。「お客様と市場の要件を満たす製品を開発することは、 当社の研究開発部門の最優先業務です。お客様との密接な協力関係と技 術革新は切り離すことはできず、相互依存の関係にあります。このため当 社は、お客様、大学、および認証機関と密接に協力しています。したがっ



て、当社は常に革新的な技術を市場に導入し、新しい標準を確立することができます」と、Thomas Pilz は説明します。

革新に基づいて、2006 年に当社はドイツ政府とドイツ産業連合 (BDI) のイニシアチブである「Land of Ideas」の 1 つに選定されました。2009 年には、ピルツは品質シールトップ 100 を受賞しました。これを契機に、シュヴァーベンの同族企業はドイツ中小企業の上位 100 位の革新的企業となりました。

2010 年、ドイツ連邦政府は、Susanne Kunschert を研究アライアンスに指名しました。この機関はドイツ政府に助言を提供する中央革新政策委員会で、ピルツは Industry 4.0 イニシアチブ策定で主導的役割を果たしました。

環境安全にも配慮

人、機械および環境の安全。これは安全オートメーションのトータルサプライヤであるピルツが製品とソリューションで実現を目指すモットーです。しかしこれにとどまらず、ピルツはこのモットーに準じて行動を実践したいと考えています。そのため、省エネ製品の開発から施設の環境保護設計、さらには環境に配慮した業務慣行まで、環境保護の課題は当社の目標にしっかりと組み込まれています。鉛使用のはんだから無鉛はんだへの転換、太陽光発電所の設置、生産現場での照明用電力の削減は、すべて環境負荷を緩和する対策です。

「安全の大使として、私たちは世界中の人と機械の安全を改善することを 目指しています」と、Susanne Kunschert は会社の使命をまとめました。 「これには、私たちが生活し、仕事をする環境も含まれています」

オストフィルデルン本社の他、ピルツは世界各地の 42 の現地法人を通じてお客様をサポートし、現地で直接販売およびエンジニアリングサービス



を提供しています。世界各地で 2,500 名を超えるスタッフが安全オートメーションサービスの知識を活用して、新市場でも標準を確立しています。

報道関係者お問い合わせ先:

Martin Kurth

Corporate and Technical Press 電話: +49 711 3409-158 FAX: +49 711 3409-9158 Eメール: m.kurth@pilz.de

Sabine Karrer

Technical and Corporate Press 電話: +49 711 3409-7009 FAX: +49 711 3409-97009 Eメール: s.skaletz-karrer@pilz.de



ピルツの概要 _{産業}

オートメーション技術、中核能力の安全オートメーション

設立: 1948年

経営陣

Thomas Pilz (経営パートナー)、 Susanne Kunschert (経営パートナー)

従業員:世界各地に2,500名以上

総売上 (2021年): 348.4 百万ユーロ

現地法人と支社: 世界各地に 42 社

品質基準: DIN EN ISO 9001:2000

製品/システム

- センサ技術 (安全ボルトおよび安全スイッチ、光電子保護装置、安全扉およびカメラシステム)
- ▶ 電子監視リレー
- ▶ 安全リレー
- ▶ 小型安全コントロールシステムおよびプログラマブル制御システム
- ▶ 産業用通信システム (安全バスおよびイーサネットシステム)
- ▶ モーションコントロール (制御システム、サーボアンプ、モータ)
- ▶ オペレータターミナルおよび視覚化ソフトウェア
- ▶ 制御機器および信号装置

サービス

- コンサルティング
- > エンジニアリング
- ▶ トレーニング

